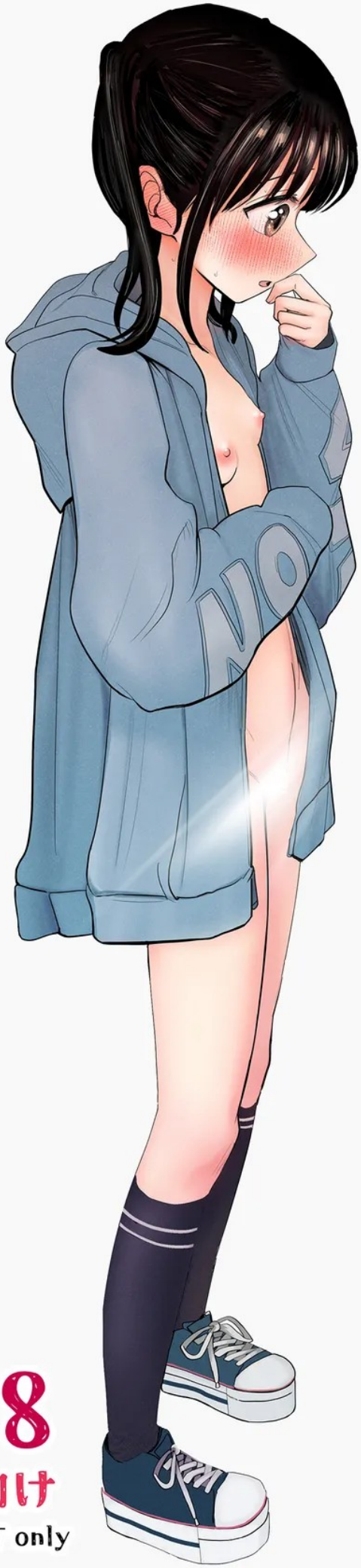
はじめてボッキを人に見せた日のこと





作　天ぷら士左衛門

R18
成人向け
for ADULT only


今日僕は
好きな女の子に
ボッキを
見られて
しまいました
…っ


ボッキというのは
今日授業で
習った言葉です
正直まだ
ボッキがなんなのか
よくわかりません
エッチな気持ちに
なるとなるそうです
実は少し前から僕は
好きな子であり
よく一緒に遊んでくれている
あいなちゃんのことを考えると
あそこがかたくなっていました
ドキ
ドキ
ドキ
ざゃっ...
ボッキのいみを
知る前から
あそこがかたくなるのは
少し恥ずかしい気がして
隠していたつもり
だったのですが


あいなちゃんは今日
ボッキを習った後の
休み時間に
勘違いだったら
ごめんなんだけど
ユウタって
私といる時
いつもボッキ
してるよね…？
こしょっ…

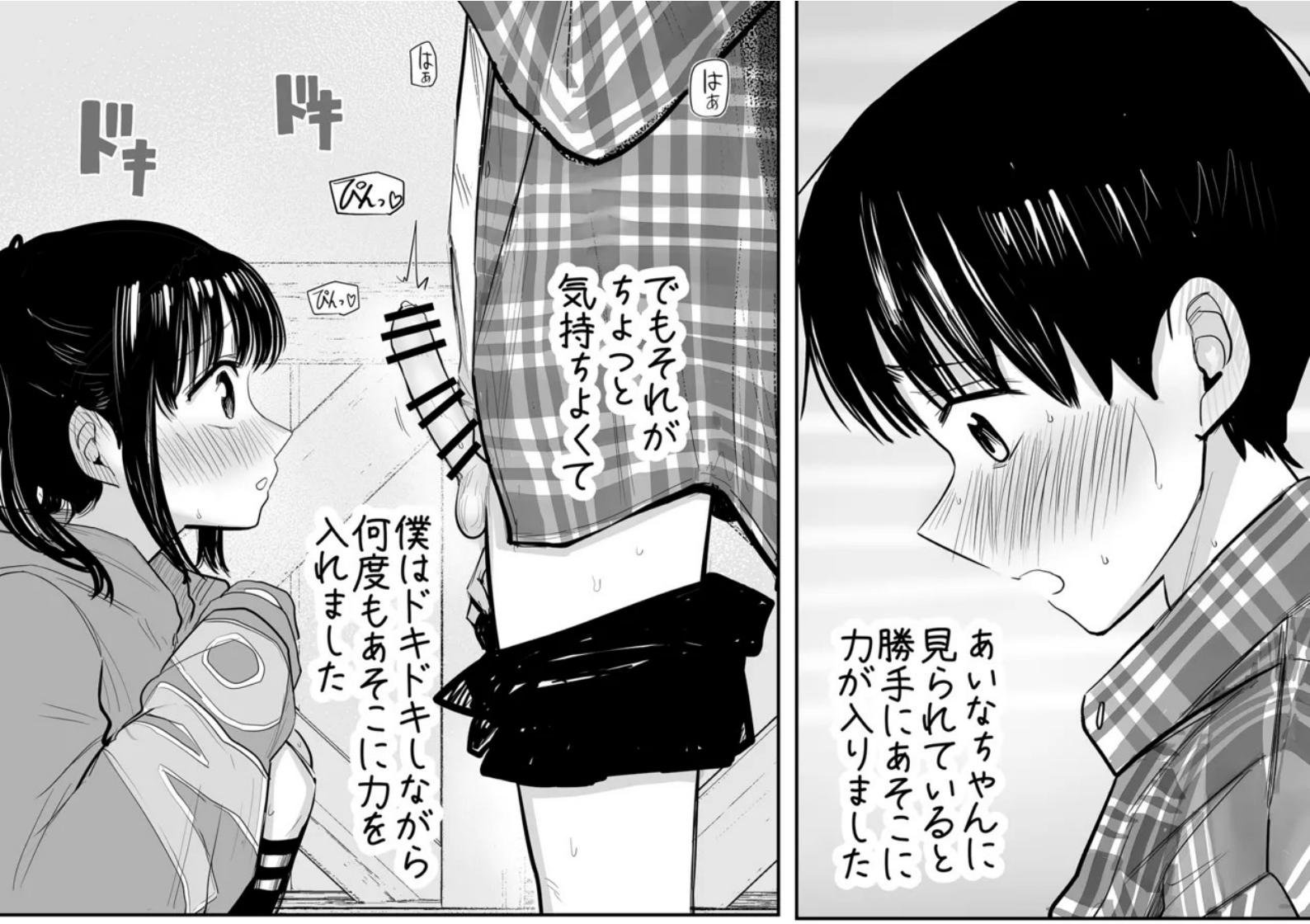

と聞いてきました
ドキン
ドキン
ばれてた
ドキン
ドキン
かあああああ…


ボッキって
えっちな気分の時に
なるんでしょ？
！
ユウタは
私といる時
えっちな気持ちに
なってたってこと？


ドキ
！
ドキ
こくっ…
つい
うん
と答えて
しまいました
ドキ
ドキ
ドキ
正直僕は今まで
あいなちゃんで工ッチな
気持ちになったつもりは
なかったのですが
その時は
頭が真っ白で
ドキ


ドキ
ドキ
僕はあいなちゃんにきらわれてしまったと思いました
しかしあいなちゃんは
ね
ユウタ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
じゃあさ
今日秘密基地に来れる？
ドキ
こしょ
こしょ
ドキ
ドキ
そこでボッキ見してくれない？
と言いました


僕はあいなちゃんと
これからも
仲良くできることが
うれしくて
放課後
僕たちの
秘密基地で
あいなちゃんに
ボッキを見せて
しまいました
あいなちゃんは
興味津々に
僕のボッキを
見ていました
とても
恥ずかしかったです
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ


あいなちゃんに
見られていると
勝手にあそこに
力が入りました
はぁ
でもそれが
ちょっと
気持ちよくて
僕はドキドキしながら
何度もあそこに力を
入れました
はぁ
ドキ
ドキ
ぴんっ♡
ぴんっ♡


ボッキは
気持ちいいことだと
その時気がつきました
ユウタの
ちんちん
超ぴくぴく
してる


しかし僕はなぜあいなちゃんを見るとボッキしてしまうのかはわかりませんでした
ユウタは…どうして私といるといつもエッチな気持ちになっちゃうの…？
！


僕はただあいなちやんのことが好きなだけでした
わからない
わ
ドキ
ドキ


するとあいなちゃんは
私とえっちなことしてみたい？
と聞いてきました


僕はとてもおどろきました
エ
エッチなこと!?
エッチなこと…って？


それは…
ちゆ…
ちゆーとか
はだか
見せ合うとか
じゃない？
その時
僕のあそこが
すごくかたくなって
僕はあいなちゃんが
言ったことをしてみたい
と思いました
し
したい
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ




ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
私のこと好き？
！
好き
大好き！
私も！
ふふふっ♡



じゃあ
服脱ぐね…？

僕ははじめて女の子の服の下を見ました

スルリ…

スルルッ…

あれ

ユウタおしっこ出てるよ

えっ!?


ドキ
えっ
病気じゃない？　大丈夫!?
なんかぬるぬるしてる　これおしっこじゃないよ
ぬとっ…
びっくりしましたがそれはおしっこではありませんでした
ドキ
ドキ


ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
これがセイシなの？
不思議…

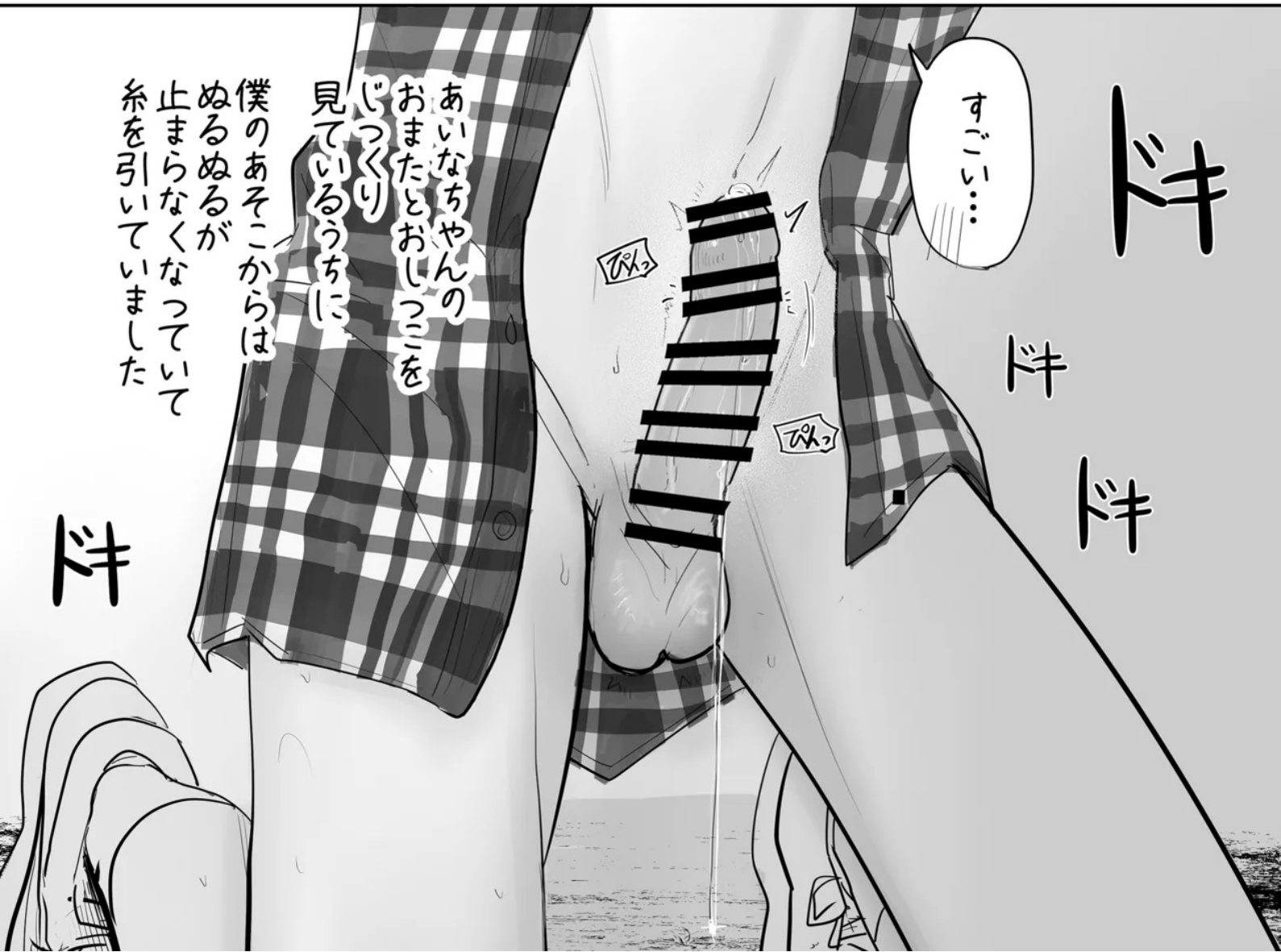

ボッキするとセイシが出るって今日先生が…
多分それかな？

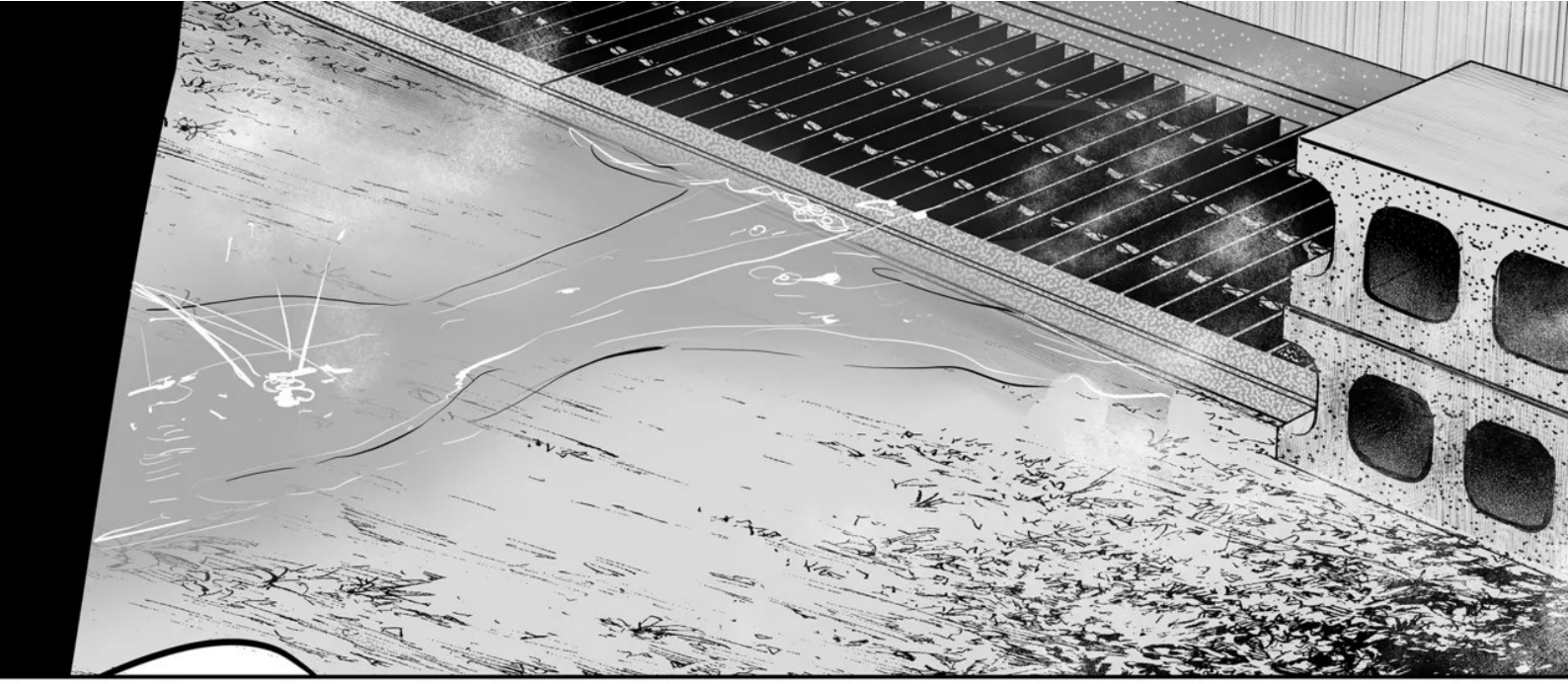

すると
あいなちゃんは
あのね
私今日2時間目から
トイレしてないんだ
おしっこで
思い出した
んだけど
ここでしちゃだめ？
おねがい！
もれちゃう…
えっ


あいなちゃんは
服を脱いでいたし
この秘密基地の近くには
トイレがないので
ここでするしか
ありませんでした
ぜ
ぜんぜん
いいよ！
俺
外出るね！
だ
だめ！
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ここにいて
くれない？
ドキ
ドキ
ドキ
ボッキ見せて
くれたし
お返し
きゅっ…
だめ？
そう
あいなちゃんは
言いました

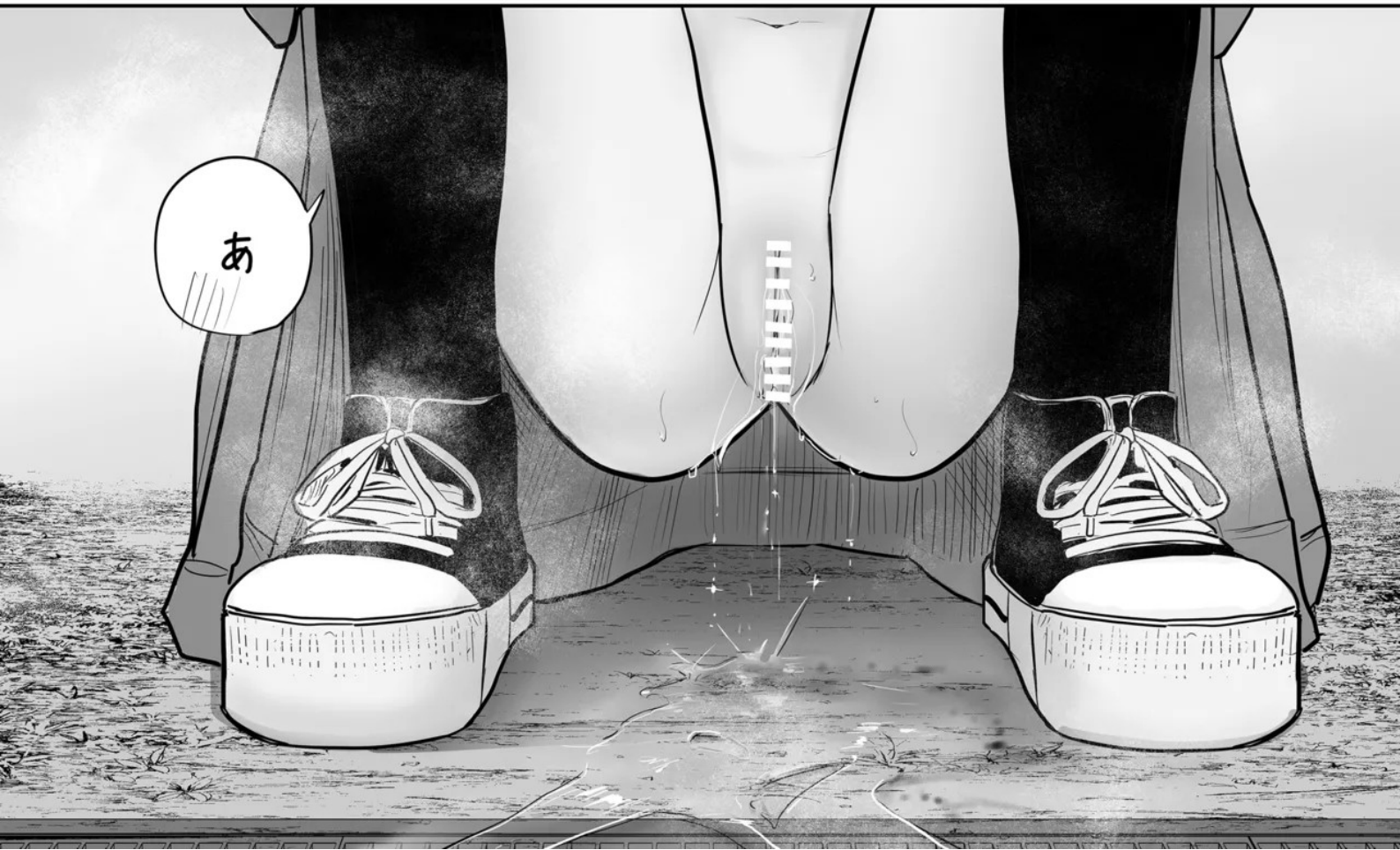

そして僕は
あいなちゃんに
ボッキを見せて
あげたかわりに
あいなちゃんが
おしっこするところを
見せてもらいました
ぢゅいいいいいいっ
パタッ
パタッ
パタッ


ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
あいなちゃんのおしっこは
少し甘酸っぱくて
こもった匂いがしました
ぢゅいいいいい
パチャ
パチャ
パチャ


すごい…
ぴんっ
ぴんっ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
あいなちゃんの
おまたとおしっこを
じっくり
見ているうちに
僕のあそこからは
ぬるぬるが
止まらなくなっていて
糸を引いていました




はぁ
はぁ
はぁ


あ
HHHH


ドキ
かあああっ!!!
やばい
どうしよう
拭くものない
ドキ
ドキ
ドキ
何も考えずに
おしっこしちゃった
！
ピチョン…
ピチョン…

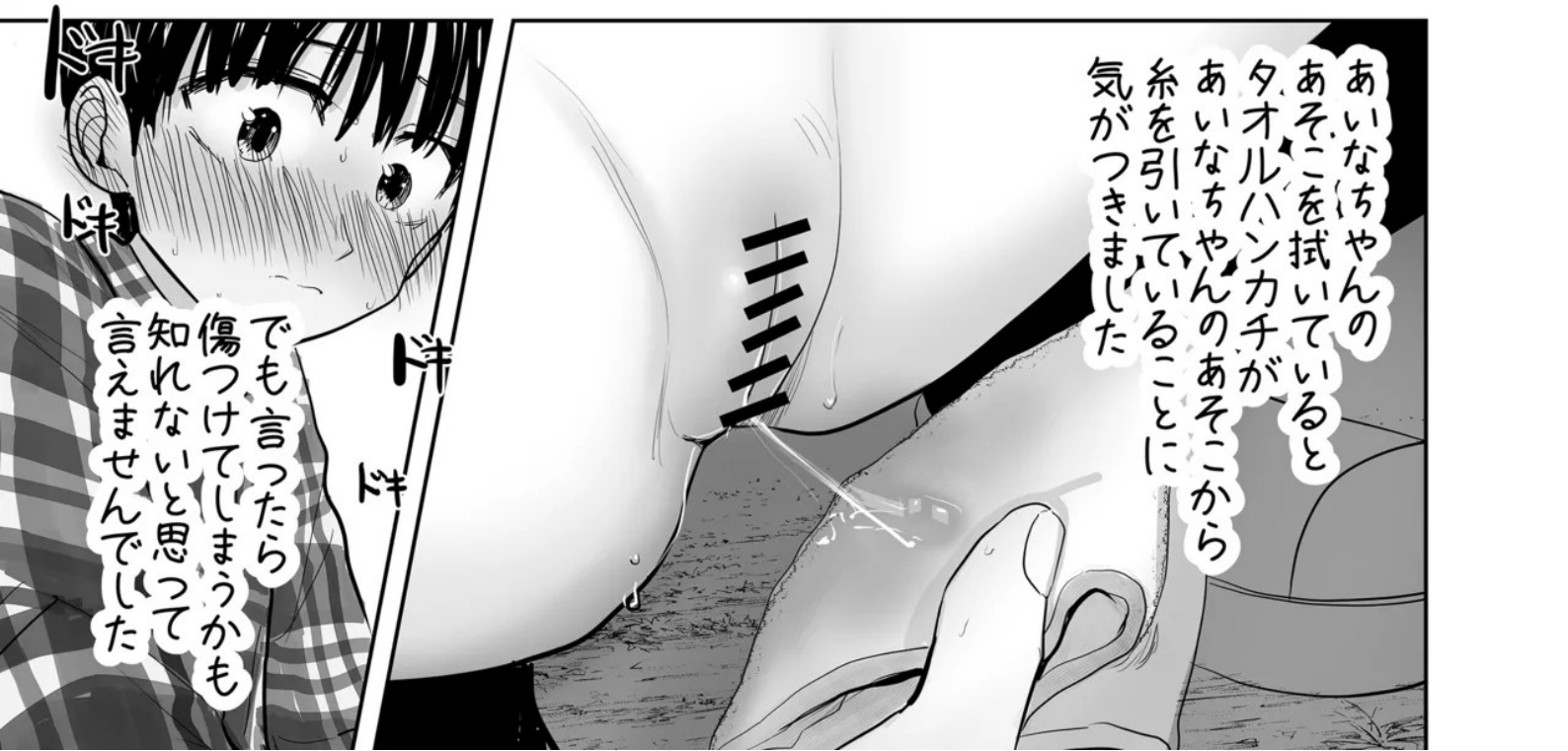

ーッ
俺のハンカチ使って！
そ
それは！
汚いからダメだよ！
ハンカチ汚しちゃう

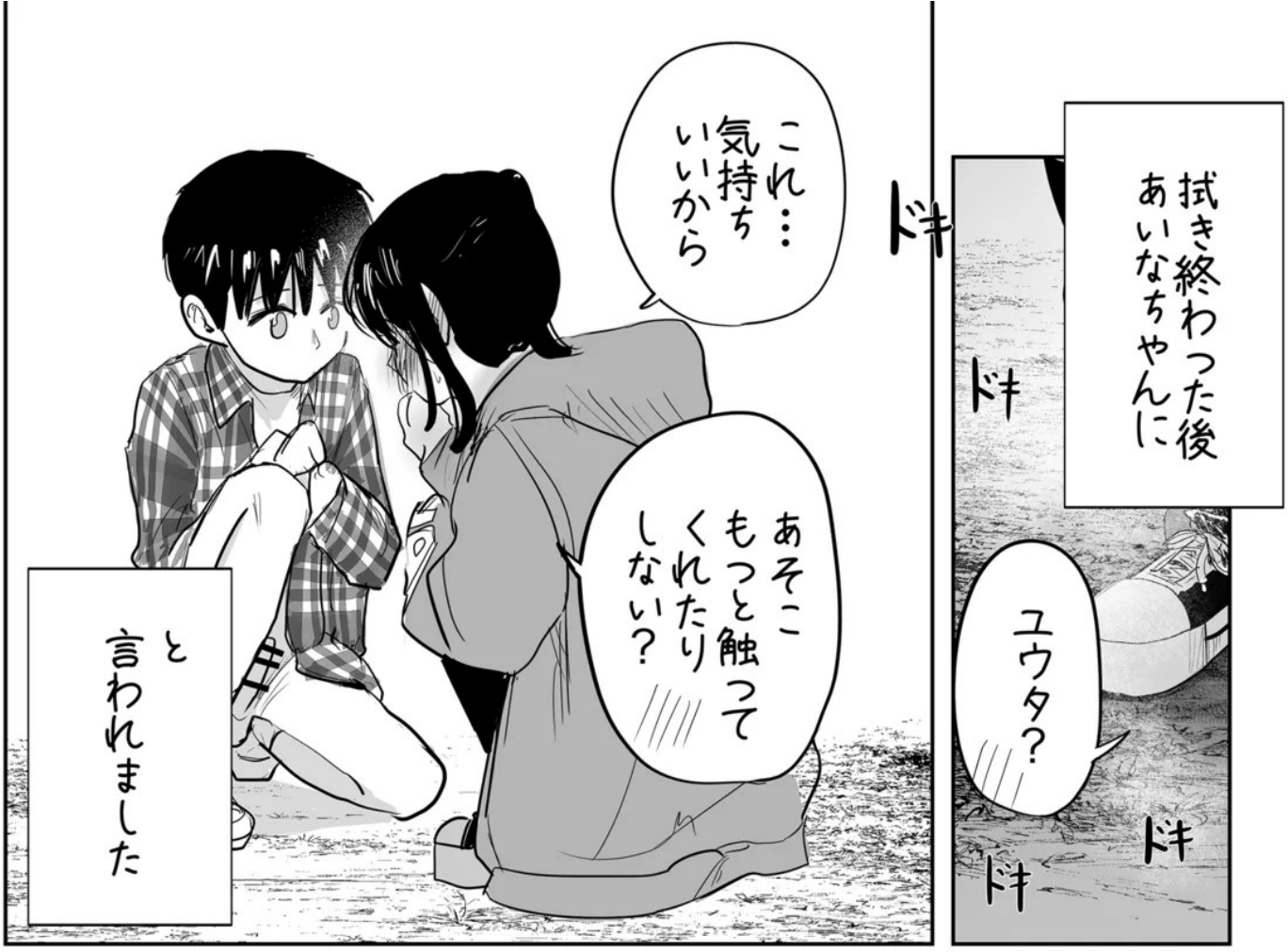

かあああ…
ドキ
ドキ
本気…？
ドキ


ドキ
ドキ
あいなちゃんのだから汚くない
使ってほしい
ドキ


うん


僕はおしっこでぬれていた
あいなちゃんのあそこを
タオルハンカチで優しく
拭いてあげました
ありがとう
どき
どき
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ぽん
ぽん


あいなちゃんの
あそこを拭いていると
タオルハンカチが
あいなちゃんのあそこから
糸を引いていることに
気がつきました
でも言ったら
傷つけてしまうかも
知れないと思って
言えませんでした
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ


拭き終わった後
あいなちゃんに
ドキ
ドキ
ユウタ？
ドキ
ドキ
これ…
気持ち
いいから
あそこ
もっと触って
くれたり
しない？
と
言われました


えっ!?
はじめは意味が
わからず
とまどいましたが
あいなちゃんの顔が
今まで以上に可愛くて
エッチだったので
言われた通りにしました
どき
どき
どき
わ
わかった！

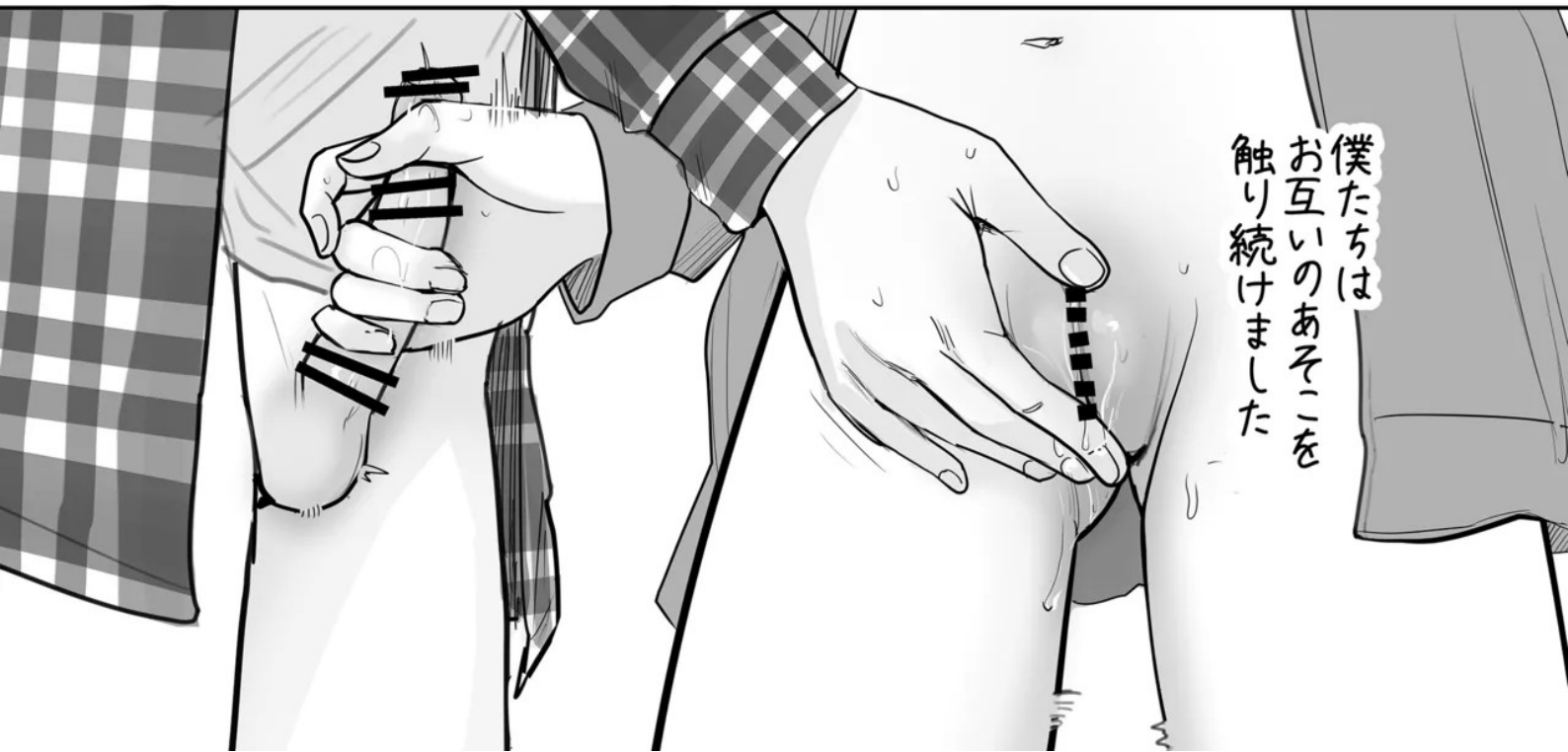

ドキ
こう…？
ドキ
痛くない？
ドキ
ドキ
くちゃ…♡
ちゅく…
うんっ…


ドキ
ドキ
触り続けていると
あいなちゃんは
ふだんと違う声を出して
顔を赤くしながら
ふるえていました
はっ
びく
あ
は
ドキ
ドキ
本当に
気持ちいい
みたいでした
びく
びく
そんなあいなちゃんを
見ていたらなぜか
僕も自分のあそこを
触りたくなって
ドキ
ドキ
少し自分で
触ってみると
ふだんあそこを
触った時と全く違う
事におどろきました

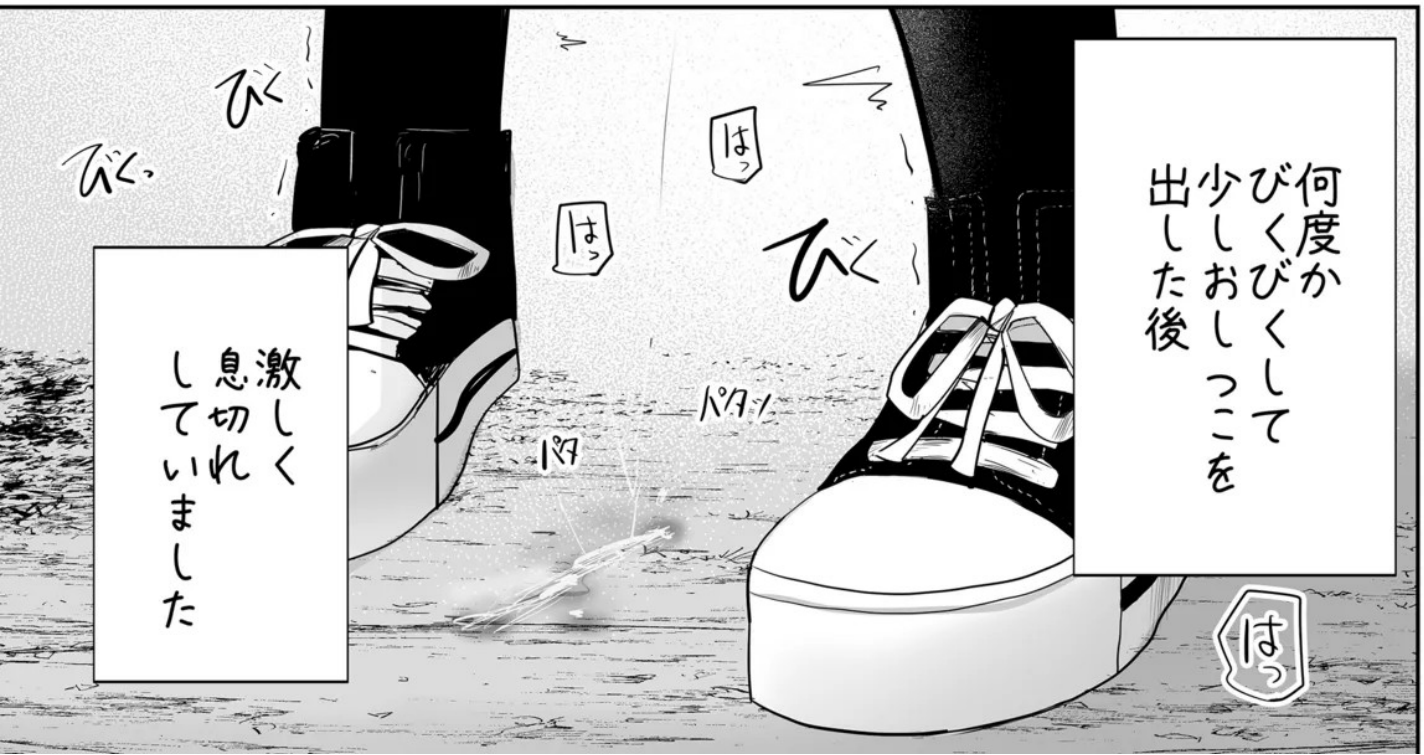

触るのが気持ちよかったので
あいなちゃんのあそこを
触りながら自分のを触っていると
それに気づいた
あいなちゃんが
はっ
はっ
ちゃく
ちゃく
はっ
ユウタも
そこ触ると
気持ちいいの？
はぁ
はぁ
と
たずねて
きました


う…
はぁ
うん
と答えると
あいなちゃんは
はぁ
触ってあげる
と言い
はぁ
はっ
はっ
ドキ
ドキ
ドキ
ズ…


さっき自分で触った時も十分気持ちよかったのですが
僕のあそこを優しく触ってくれました
あいなちゃんに触られるのは自分で触るのより何十倍も気持ちよくて頭がふわふわしてあそこにどんどん意識が集中しました
はっ
あ


僕たちはお互いのあそこを触り続けました


すると
あいなちゃんが
なんかっ
くる
と言って
きちゃう
えっ!?
!
あっ
!?
だめっ
ビク
ビクッ
はっ
ゾクゾク
ビクッ
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
パタッ


何度か
びくびくして
少しおしっこを
出した後
激しく
息切れ
していました
はっ
はっ
はっ
びく
びくっ
パタッ
パタ


僕は何が何だか
わからないまま
あいなちゃんが
顔を赤くしながら
はあはあしている
様子にドキドキ
していました
いい匂い…
ドキ
ドキ
ビク
はあっ
ビクッ♡
はっ
はっ
ドキ
ドキ
はあ


気がつくと
おしっこが
もれちゃいそうな
感じがして
僕はあせりました
あっ！
ドッ
ドッ
ドッ


あいなちゃん
ごめん
おしっこ
出そうだから
はっ
はっ
ドッ
ドッ
ドッ


俺も
ここで
してい？
てか
するぬっ
もれる！
！

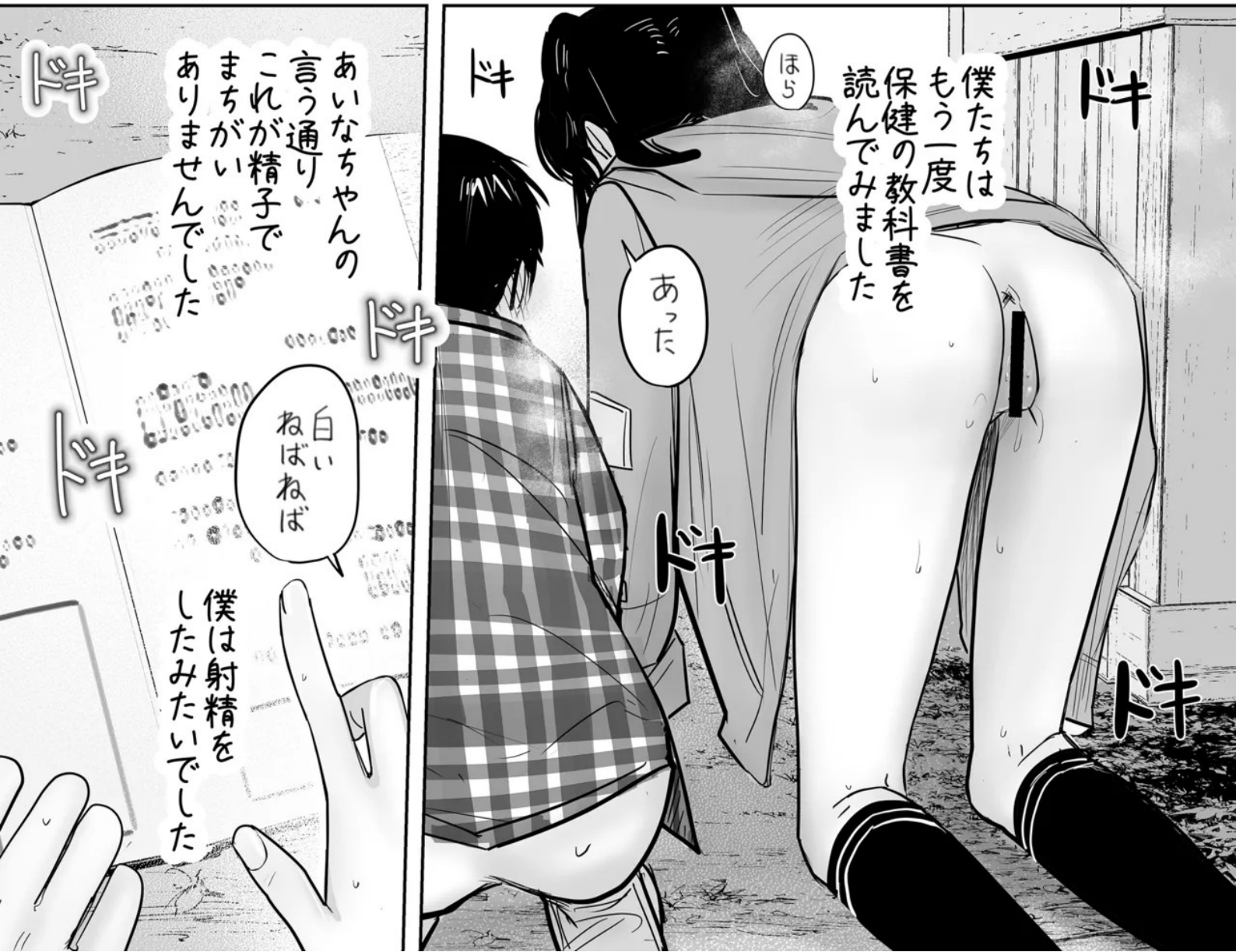

ドキ
はぁ
ドキ
はぁ
はぁ
はぁ
ドキ
ドキ
…み
見てもいい？
はぁ
はぁ
うん
はぁ
あいなちゃんが許してくれたので僕は急いで壁に向けておしっこをしようとしたのですが
ドキ
はぁ
あれ出ない
ドキ
なぜか出そうにありませんでした
ドキ
はぁ
はぁ
おかしいな
ドキ
はぁ


立ちションを見たかったらしいあいなちゃんが
残念そうに僕のあそこを触ると
ドキ
ドキ
ドキ
ちょん…
ユウタのおちんちんボッキで壊れちゃったのかな？
！
待って
出ちゃう
ゾク
ゾク
僕はまたおしっこが出そうになりました


だめっ
あっ！
わっ
ぴゅっ！
しかし今度は我慢できず
僕はおしっこをもらしてしまいました


でもそれは
おしっこではなく
白くてドロドロした
液体で
ビク
ビク
ガク
ガク
え
ぱたっ
ぱたたっ
はぁっ
しかもおしっこを
出す時の何百倍も
気持ちいい
感覚がしました
はっ
はぁっ
びく
びくっ
はっ
はぁ
はっ
な
なにこれ
はっ
ドッ
ドッ
はっ
はっ
なに今の
はっ


ユウタ
ドキ
ドキ
！
これおしっこじゃなくてセイシなんじゃない？
これがセイシなんだよユウタ
ドキ
ドキ
はぁ
はぁ
ドッ
ドッ
ドッ
セイシ？
ドッ


僕たちはもう一度保健の教科書を読んでみました
ほら
あった
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
あいなちゃんの言う通りこれが精子でまちがいありませんでした
白いねばねば
僕は射精をしたみたいでした







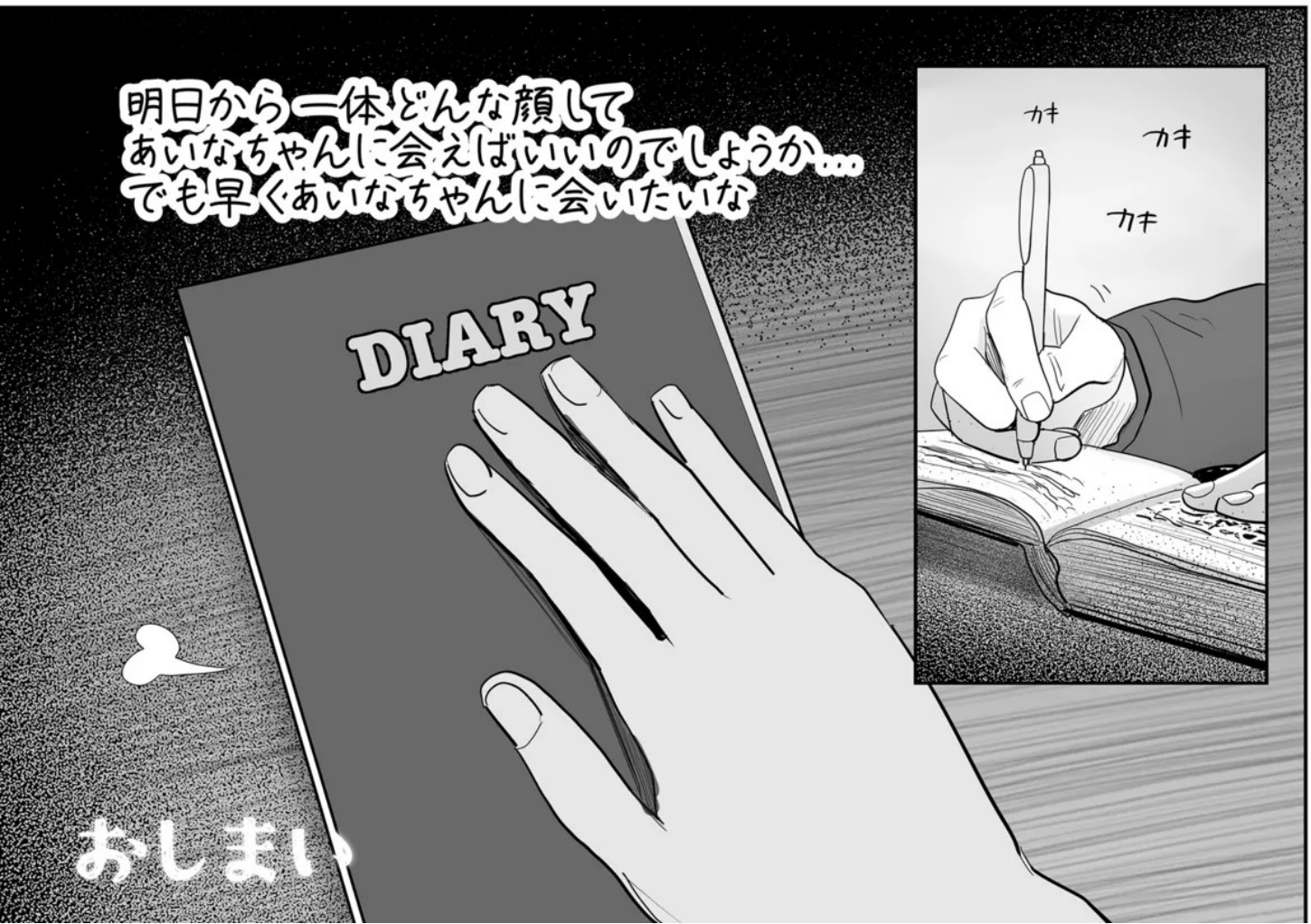
僕は
あいなちゃんと
2人だけの秘密が
増えてとても
うれしかったです

ユウタ
好き

俺も！


そして僕は
また明日ね！
僕たちは暗くなる前に家に帰りました
今日のことを何度も思い出してしまって
家に帰ってからもずっとボッキが治りませんでした
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
スキ
スキ
タッ


ドキ ドキ
いけないことだとわかっているのに
僕はあいなちゃんのあそこに触れ
あいなちゃんのおしっこが染み込んだ
タオルハンカチのにおいを
何度もかいでしまいました
フッ
スーハッ
スーハッ
フッ
ごめんなさいっ
ごめんなさいっ
ごめんなさいっ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
あ
ビク
かぐたびにあそこがもっと
固くなって気づいたら
2回目の射精をしていました
ベちゃ…
僕は射精に
やみつきに
なってしまい
そうで怖いです…


明日から一体どんな顔して
あいなちゃんに会えばいいのでしょうか…
でも早くあいなちゃんに会いたいな
DIARY
カキ
カキ
カキ
おしまい

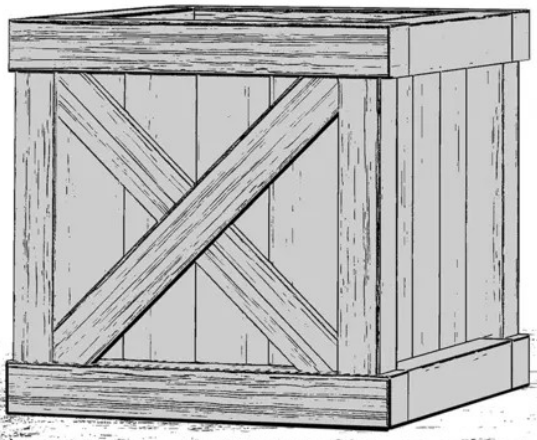


～登場人物の紹介～

あいなちゃん

僕の好きな人。
3年間同じクラスですが
隣の席になれたのはまだ2回しかありません。
今はとても幸せです。

あいなちゃんはすごくモテます。
どうして僕とよく遊んでくれるのかよくわかりません。



秘密基地

今は別の場所で暮らしてる、
あいなちゃんの親戚の人の倉庫らしいです。
この場所を教えたのは僕がはじめてみたいですが
あいなちゃんはどうして僕を
特別扱いしてくれているのか
よくわかりません。
何回かここで遊びましたが、
人が来る気配は全くありません。

どうもこんにちは、天ぷら土左衛門です。
連載が終わってから締め切りに追われることなく
絵を描けるようになったのですが、
そのせいで無駄に描き込みすぎてしまう悪習がついてしまい…
前作からとても時間が空いてしまいました…。スミマセン。。。

次は絶対抜けるような作品を作るので…絶対に…
見捨てないで……泣

ご購入and最後まで読んでいただきありがとうございました！
過去作や次回作も何卒よろしくお願いします。お元気で！

発行者　：天ぷら土左衛門
発行　：灼熱ゴリラの戻し汁
印刷　：丸正インキ有限会社様
連絡先：dozaemontempura@gmail.com
X　：Stirbundwerde2

ADULT ONLY
R18
成人向け

この本を無断で転載（WEB含む）、複製、複写、転売することを禁じます

Unauthorized reprinting,reproduction,
replication,uploading to internet sites
social media,net auction sites,eeetc. ,
or resale to secondhand bookstores is prohibited.

コマ〜シャル

初単行本
「2年ぶりのお泊まり会」



初一般連載作品
「声が聞きたい小平くん」全3巻

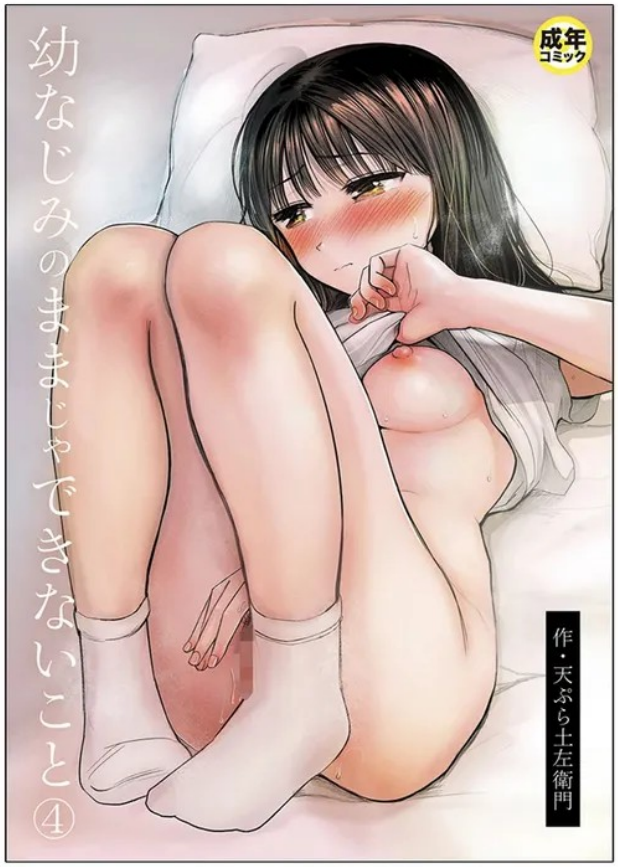






単行本未収録作
「幼なじみのままじゃできないこと」①〜⑤





修学旅行で特別な思い出作り♡





おすすめ作品 →

おまけ♡




Born to Sparkle
Born to sparkle
NOVA

供養



僕はその日
あいなちゃんが
あそこを広げて
中を見せてくれる
夢を見ました

目が覚めるとパンツが精子でべちゃべちゃになっていましたそういうものなのでしょうか？

とても困ります…

つづく…